

ていきたいものと存じます。

本日のお世話を頂きました三条ロータリーの皆さん、そして、北、南ロータリーの親睦委員会のみなさんに、心から謝意を表しまして、開宴のご挨拶といたします。

乾杯の音頭： 三条北ロータリークラブ会長 山上茂夫君

今日は三条ロータリークラブ、南ロータリークラブ、三条北ロータリークラブの市内はじめての合同例会が和やかに開かれましたことを心からお慶び申し上げます。

また先程からロータリー発足時のことやロータリーの内容について蘊蓄あるお話もおききすることができまして大変よかったと思っております。今日一同に会しまして「自分を越えた眼で」友情を深め、奉仕の気持がそれぞれを会員に浸み透る様な会にして戴きたいと思います。

それでは「自分を越えた眼」で会員の皆様の御健勝と三クラブの更なる発展を祈念するところであります。

自分の背丈を超えて杯を高々と掲げ乾杯を致したいと思います。「乾杯!!」どうも有難うございました。

万歳三唱：三条北ロータリークラブ会長 山上茂夫君

宴たけなわですが御指名によりまして最後をしめさせて戴きます。

今日は大変よい会をもたせて頂き有難うございました。また先程、素晴らしい御提案を下さいました。「柔かいお手々をつないだ方はニコニコBOXへ御協力を」と云うことでしたが、固いお手々はない様でして、みなさんみんな柔かいお手々をつなぐことができて幸せだったと思います。

来年は南ロータリーさんが主体となってこの合同例会を開催すると御約束をなさいましたが、その次は私の権限ではありませんが、北クラブも約束手形を振り出させていただきます。今後お集まりの皆さんやまた参加いただいた御婦人、更に三ロータリークラブの益々の御発展をお祈りして万才三唱致します。

ロータリー会員の皆様、ロータリークラブ万才!! 万才!! 万才!!

閉宴の挨拶： 三条南ロータリークラブ会長 田中久作君

宴たけなわのところ、真に恐縮ですが閉宴のご挨拶を申し上げます。このたびは、三ロータリークラブの親睦を深めることができましたでしょうか? (拍手) はい、ありがとうございました。

来年は、私共南ロータリーがホスト役をやらせて頂きます。ひとりでも多いご参加を祈念いたしまして、閉宴のご挨拶といたします。ありがとうございました。

11月19日例会： 地域社会を理解しよう 第6回 三条市の台所事情

11月26日例会： メンバーを理解しよう 第4回 テーブルトーク ボックスにもの申す



三条北ロータリークラブ週報

自分を越えた眼を

Look Beyond Yourself

国際ロータリー会長 ラジェンドラ.K. サブー 第2560地区ガバナー 橋本 カ

例会日

1991. 11 . 12

累計 No 245

当年 No 20

会長／山上茂夫

幹事／堀川正幸

SAA／味方義一

例会日／火曜日 PM12:30～1:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111

事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160

行事： ロータリーを知ろう／「ポールハリスフェローを目指そう」

ロータリー財団委員長 笹原勝治君

出席： 本日の出席 53名中42名

先週の出席率 53名中51名 96.23%

10月の出席状況 会員数53名 例会数5回 平均出席率92.45%

先週のメイクアップ： 11月6日 マカテ西南（マニラ）RCへ 高橋彰雄君 中条耕二君

米山忠俊君 鈴木英友君

11日 三条RCへ 中条耕二君 米山忠俊君 山本 充君 高橋彰雄君

吉川吉彦君 山上茂夫君 大野新吉君

ビジター： 三条RCより 五十嵐晋三君 高橋一夫君 平原信行君 小林英雄君

関本哲秀君

三条南RCより 佐々謹弥君 田中康雄君 吉田行雄君 丸田肇一君（5日）

会長挨拶： 山上茂夫

今日は三条クラブから平原さん、小林さん、高橋さん、五十嵐さん、岡本さん、三条南クラブから田中さん、吉田さん、佐々さんとお越し下さいまして有難うございました。

先日の6日の三条クラブの合同例会には多数御出で下さいまして有難うございました。

今日も他のクラブからメークアップがありまして丁度ミニ合同例会の様な気がいたします。この前の合同例会は非常に和やかな雰囲気です。私達も楽しい夜を過ごすことが出来ました。これはやはり先輩クラブの三条クラブ、三条南クラブの出来上ったいわゆるアダルトな雰囲気が私達を落ち着かせてくれたのではないかなと思います。この席をお借りして今日メイクアップをされた皆さんに重ねてお礼を申し上げます。

さて私の手許に合同例会の週報がありますが、中味の話も鈴木会頭さんのお話もございません。写真だけで編集されており、何かかいてありませんが、皆さんの記憶をたどって頂ければ十分に理

解できる会報だろうと思います。更に追加号によって紹介されることと思います。裏の写真によれば、当日のコンパニオンさんは写っていませんが、最後に手をつないだ手の暖かみを忘れないうちに、私も先程ニコニコBOXに入れさせて頂きました。

今まで合同例会がなかった事が不思議な位で藤田先生もおっしゃった様に小さなクラブと一緒に出来て出来ることをまたやろうと言うことを一つになって取組む事が、大きな成果をあげると言うことであります。

私達が今考えていることは社会奉仕活動の一端としてボランティア活動の市民総参加の〔ボランティア活動を支える会〕の様なものを作りたいなあと考えています。これもその様な席で多くの団体と手を握りながら大きな土俵作りをしてゆきたいと思っています。手品ではありませんが、ここに一枚のカードがあります。これはトランプの「3」であります。こちらは「6」です。しかし先程のは「3」ではありません。こちらは「4」であります。私達には日常さっかくとか思い込みが沢山あります。

ロータリーではこれをしてはいけないのではないかとかロータリーはそんなことはしなくてもよいのではないかとか思いこんで動いてくれキライはないでしょうか。

自分達はありのままに見ると言う姿勢が大人になると段々欠けてゆく様に思います。

ある会員さんは頼もしくハシャイで元気であると思っても実は慎重で緻密で誠実で落ち着いた考え方を掘っている場合もあります。

私は身近な足元からできること、出来ないと思わないでありのままにみて判断し、皆で相談し出来ることからやってゆくと言うことが、より大きな力となり、より大きな仕事を完成させると考えています。

このたび第4分区代理から御依頼があり三条北クラブから次の分区代理を出して欲しいとのことです。三条クラブ、三条南クラブはそうそうたる方々が多くいらっしゃいますが、北クラブではごく限られた人となります。そこで三条クラブ、三条南クラブからリードしていただきたいと思っていましたが、分区代理の依頼でもありますので、私は天の声と聞き、最終的には北クラブの創設者である中条さん、梨本さん、お二人をノミネートし、会全体の事、個人の事情をおききした上、会の為に最終的に梨本清一さんを御推せん致しました。一足先に皆さんに御披露申し上げ、一層の御活躍を御期待する次第であります。

さて会長職務は次々年度会長を選ぶ事が一番大事な仕事だと言われていますが、もうその時期が参りました。北クラブには会長をしたいという人が沢山いらっしゃいますが、皆さん、それだけの力量と情熱と理解をもっておられます。私も困っている程ですが、我こそ会長にと言う方がおられましたら私の方へ申し出ていただきたいと思います。

今日の卓話は〔ロータリーを知ろう、ポールハリスを目指そう〕と言うテーマでロータリー財団委員長の笹原勝治さんからお話がございます。〔財団を通じ青少年の健康育成につとめよう〕と言うテーマを私も掲げておりますのでどうか、財団にも御協力の程よろしくお願い申し上げ御挨拶と

卓 話： 鈴木宗資会員

ロータリーができた当時を金子左武郎さんから聞いた話によりますと、三条ロータリー発足は昭和32年です。31年頃から新潟クラブと長岡クラブから盛んに三条のほうに呼び掛けがあったという話だそうです。何度言っても三条は腰を上げないということで、32年の正月に矢のような催足がありました。そこで私が金子さんに呼ばれまして、ロータリーを作れということになり、人選は金子さんのところで、させて頂きました。25名にしたと思います。新潟のクラブの方にどのくらい集まるのかをお聞きしましたら80～90%集まるということでした。しかし、私には、そんなに集まるとは考えられないし、どんな事をしてあなたがたは集めているのかと聞きました。そしたら奥さんに頼めばわけがないとのことでした。そこで、一番先に三条のチャーターメンバーの奥さんを発足式の前にまず集めましてその二十数名の奥さん方に頼みました。毎週水曜日は「今日はロータリー、今日はロータリーと言ってお昼食をださないようにして下さい。そうするとロータリーに行きますから。」という事で、此れが成功しまして、家に居ても、食事が無いからロータリーに行こうというようになりました。こうして、四月に発足式を行ったわけです。

当時を考えますと日本のロータリークラブは、二つ三つしかありませんでした。東京から新潟を含め北海道の端までが第29区でございました静岡から九州までが第30区で、ガバナーは二人しかおりませんでした。当時、私どものガバナーは、伊藤文吉さんという方でアメリカのハーバード大学出身の英語のできる大変な方でございました。

内田製作所の社長の内田鐵衛さんという方はチャーターメンバーでございますが、「私は昼寝をしないと、よい案が浮かばない。だから、二か月したら辞めさせて下さい。」と言いだし、ガンとして聞き入れませんでした。

内田さんが、いい考えを出してこれから事業を発展させるには昼寝が必要だったんです。昼寝を三条ロータリーが容認してなければ今日の、内田製作所はなかったわけでございます。

もう一人、結城太一郎さんという方ですが三条機械の会長さんです。この方はロータリーに入って西独に行き、日本にないタバコを作る機械を購入したのです。当時、三条機械の運命をかけた機械を売ってもらえ、今日、タバコ機械で日本一になったのはロータリーのメンバーのおかげであつたと大変喜んでおられました。無理して作ったロータリーでございますが大変良い事をしたと、後になって思っております。数十年前、ロータリークラブは皆様方に対して非常によい、接待が出来たことを自負しています。

閉 会 点 鐘： 三条ロータリークラブ会長 渡辺宏策会員

開宴の挨拶： 三条南ロータリークラブ会長 田中久作君

私、南ロータリーの田中でございます。只今は、藤田パストガバナーのお話、そして鈴木さんの卓話、硬いお話と軟らかいお話で大変有意義な例会でありました。

さて、ロータリーは、親睦から始まるといわれておりますが、その親睦は出会いからであります。今宵はその出会いの場であります。時間の許す限り大いに親睦を深め、そして友情の輪を広げ